

コロナ対策、暮らし、子育て、まちづくり 日本共産党



高梨としひろ

磐田市議会議員

市民と力を合わせて

新型コロナウイルス感染拡大が広がる中で市民の命と暮らしをどう守るか、問われています。この間、議会で医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員への新型コロナ対策のPCR検査や、希望する市民のPCR検査を求めてきました。

政府の新型コロナ対策は、自治体任せで医療機関への支援も進んでいません。国の政治を変えることも、市民の暮らしを守ることにつながります。市民と野党の共闘で、国の政治を変え住民の皆さんと力を合わせて、命・暮らし・福祉を守るためにがんばります。

プロフィール

- 1954年 磐田市中泉に生まれる。(66歳)
磐田市立第一中学校、磐田南高等学校
関西大学経済学部を卒業
- 現 在：磐田市議会議員（4期目）
総務委員会委員、広報広聴委員会委員
磐田生活と健康を守る会顧問
「浜岡原発はいらない磐田の会」世話人
- 住 所：〒438-0077 磐田市国府台（京見塚）648-1
TEL・FAX 0538-32-2319

① コロナ対策に支援の拡充

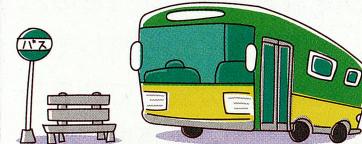
- ◎無症状者を含めたPCR検査の抜本的拡充
- ◎高齢者や基礎疾患をもつた方のPCR検査自己負担1万円の軽減
- ◎中小企業や事業者に対して空調、トイレなどコロナ感染防止対策に市独自の助成を
- ◎食材や資材の納入業者にも補償を
- ◎小規模事業者、低所得世帯の支援
- ◎市立磐田総合病院をはじめとした地域医療機関と医療従事者の支援拡充

② 国保税、1世帯1万円の減税 —暮らしの不安をなくす市政—

- ◎高齢者の補聴器購入助成金（3万円）の拡充
- ◎高齢化により免許返納が進むなか、市のコミュニティバスの運行や、デマンド型乗合タクシーの改善で買物や通院をより便利に
- ◎「健康寿命日本一・いわた」の計画策定



「バス問題」で街頭宣伝をする高梨としひろ議員



財源の有効活用を

市民要望実現などに自由に使える財政調整基金（貯金）が、令和2年9月現在で約72億円あります。私たちが苦労して納めた税金は、新型コロナ対策、検査の拡充をはじめ、市民の命・暮らし・営業を守ることを優先して活用すべきです。

③ 学校給食の無料化 —子どもの教育と子育て環境の整備—

- ◎小中一体校は学校統廃合をめざすものであり、子どもや地域も困るので見直しを
- ◎コロナ禍の中で小規模校、少人数学級を活かした教育を
- ◎遊具のある自然運動公園、児童館の建設
- ◎学生が安心して学べる給付型の奨学金制度の創設を

④ 市民参加のまちづくり

- ◎市民文化会館の跡地は市民が集える施設に
- ◎桶ヶ谷沼・鶴ヶ池、大池、ひょうたん池などの自然保護と環境の保全
- ◎市民とのタウンミーティングの開催

⑤ 浜岡原発再稼働はストップ

- ◎浜岡原発の再稼働は反対。止めたまま廃炉にすることが一番の安全対策
- ◎再生可能な自然エネルギーの普及と活用を
- ◎地震・津波・火災等の防災対策と防災体制の強化